



鶏 鳴

2009年7月12日(第27号)

イエスの言葉

『あなたがたは地の塩である。』

(マタイ福音書 5章 13節)

牧師 河合 裕志

イエスはどんなつもりで地の塩などと言ったのだろう。私たちが塩からい、しょっぱい人間になれ、顔をしかめた、難しい者になれと言ったのか。まさか、そんな訳ではないだろう。ではどういうこと？

塩は味つけに使われる。調味料、この働きは大きい。みそ汁、いろんなおかず、ゆで卵を食べる時など塩は欠かせない。塩分の取り過ぎは高血圧などの生活習慣病に通じるので要注意だけれど全く摂取しない訳にはいかない。

あなたがたは地の塩だとは社会の味をつける人になりなさい、ということ。社会の味つけ？どんな風に？ 時にあの人は「味わいのある人だ」と言ったりする。これは温かみのあるおもしろさを持った人ということか。決して人を傷つけず周囲にホンノリとした笑いをもたらしてくれるような人。誠にそんな人になれたら幸い。こんな味わいのある人が家庭を始め、およそ人の集まる所には欠かせない。

それから味つけということで「愛の味つけ」といったものが考えられるのかも。一寸した優しい言葉かけ、お早うとか有難うとかこちらから先に声をかける、あるいはまた小さな親切・善いわざ～荷物を持ってあげたり、道路をそうじするとか、こういった愛の味つけがどんなに世の中にあるお

いをもたらしてくれることか。

次に塩は腐るのを防ぐという働きがあるね。魚の鮮度を保つために、野菜や肉類を保存するためにこれが用いられる。それから推しはかるとあなた方は世のクサレを防ぐ人になりなさいよ、ということになる。これってしかしどういうこと、世の中そんなに腐っている？

それは腐っている。悪い匂いを放ってる。毎日のように起こってる窃盗、ひったくり、殺人、振込め詐欺、偽装……。これは何とかしないとイケない。どうする？自らよく注意して身を守る、警察に頑張ってもらう、良い政治を行ってもらう、一人一人の道徳意識を高める……。どれも必要、大切なことばかり。

そして大事なことはあなたがたが地の塩となること。自ら不正なことに加担しないことは言うまでもないことだけど人の不正を見たならば、それはよくないことですよ、と指摘すること、言ってあげること。愛をもってその人のために、社会のために。これってしかし余程の勇気が必要。このユーキをイエスに求めたい。そうして少しでも世の中がよくなる、住みやすい所になれば幸い。

集会案内

主日礼拝 : 毎日曜日午前10時15分

子どもの教会 : 毎日曜日午前9時

中高校生会 : 毎日曜日礼拝後

婦人会・壮年会 : 第2日曜日礼拝後

聖書を学ぶ集い : 第4水曜日午前10時

オリブの会(読書会) : 第3月曜日午前10時